

経営比較分析表（平成29年度決算）

広島県 呉市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.20	96.10	3,477

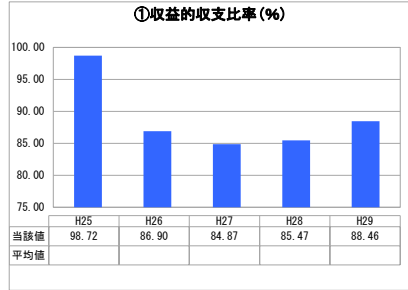
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
227,965	352.80	646.16
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,720	0.70	3,885.71

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



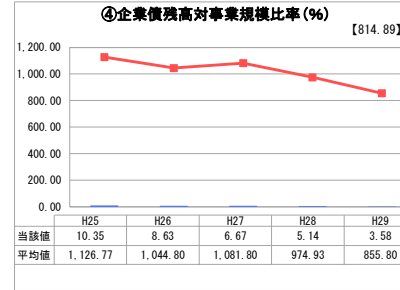
「単年度の収支」



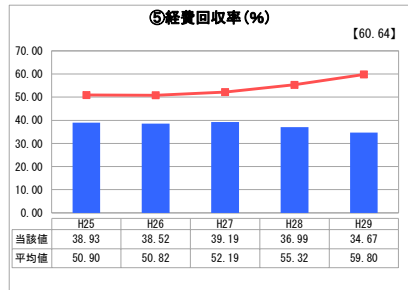
「累積欠損」



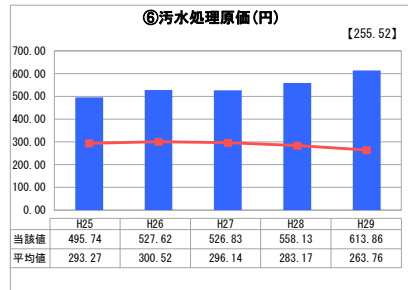
「支払能力」



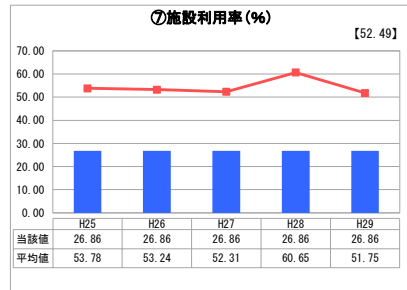
「債務残高」



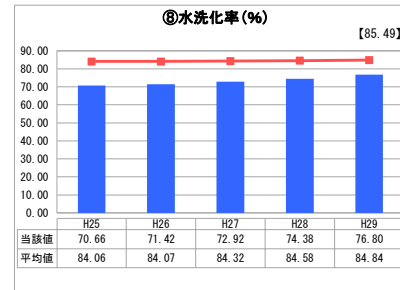
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

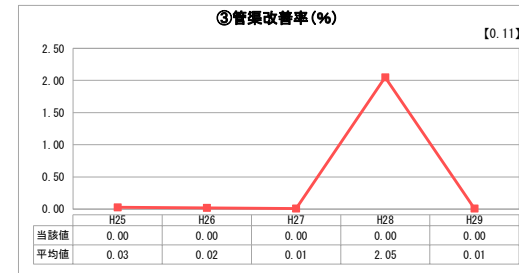
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
100%未満の赤字で推移しています。
⑤経費回収率、⑥汚水処理原価
⑦施設利用率、⑧水洗化率
本市の水洗化率は、約77%となっています。近年は上昇傾向にあるものの、全国平均・類似団体に比べ低くなっています。これは、使用料収入の基となる有収水量が少ないことを示しており、施設利用率の低さに繋がっています。
また、有収水量が少ないことから、使用料収入も少なくなり、全国平均・類似団体に比べ、経費回収率は低く、汚水処理原価は高くなっています。

【要因と現状】

当該事業は、市内8地区の農業集落における、し尿や生活雑排水等の汚水の処理、公共用水域の水質保全、当該区域の生活環境の改善を目的とし、区域内人口2,720人（H29年度末）の小規模事業です。その経営は、対象区域の人口密度が低く、人口が少ないことから、経常的な経費を使用料収入だけでは賄えないため、不足分は公費（税金）で補てん（負担割合は約7割）している状況です。

2. 老朽化の状況について

平成8年度の供用開始から22年が経過していますが、法定耐用年数を経過した管渠はありません。

全体総括

下水道は、市民生活等に欠くことのできない極めて公共性が高いインフラであることから、持続可能な事業運営が求められます。このことから、接続率の向上による使用料収入の確保に努め、公費負担の軽減を図ります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。